

様式1-1 キャリア・プランシート(就業経験がある方用)

令和 × 年 × 月 × 日現在

| | | | |
|------|--------------------------------|---------|--|
| ふりがな | にほん たろう | 生年月日 | 昭和 50 年 05 月 05 日 |
| 氏名 | 日本 太郎 | | |
| ふりがな | まるまるけんさんかくさんかくしちゅうおういっちょうめ | 電話 | 090 - 1234 - 5678 |
| 連絡先 | 〒 111 - 2222 〇〇県△△市中央1丁目1-1 | メールアドレス | jobcard@abc.com |

価値観、興味、関心事項等

(大事にしたい価値観、興味・関心を持っていることなどを記入)

これまで大学で社会福祉について学び、資格を取得しました。卒業後は医療機関にて日常生活を営むのに問題がある患者様からの相談に対して助言や指導、援助を行なう専門職である事を自覚し、責任を持って仕事に取り組んできました。その後、更に専門的な職務を行いたいと考え、現在は精神科病院にて医療ソーシャルワーカーとして就業しています。精神面から日常生活を営むのに問題がある患者様からの相談に対して適切な対応を行い、社会復帰に向けて支援を行っていきたくと考えています。

強み等

(自分の強み、弱みを克服するために努力していることなどを記入)

- ・様々な問題を抱える患者様の対応をしてきた経験から偏見等は無く客観的に事象を捉える事が出来ます。
- ・仕事では相手の話をじっくり伺う必要がある為、傾聴する力が身についています。
- ・精神障がい等の病理の傾向やその対応方法の知識不足に課題があります。今後はセミナー受講や資格取得等で自己研鑽をしていきたいと考えています。

将来取り組みたい仕事や働き方等

(今後やってみたい仕事(職種)や働き方、仕事で達成したいことなどを記入)

精神障がい等についての知識を深め、現在勤めている精神科病院にて患者様やそのご家族の相談に対して助言や指導、援助を適切に行っていきたいです。専門的知識を身に付け、経験を積み、正規職員となり、経済的問題の解決調整援助や地域活動の職務も行っていきたくと考えています。また、介護分野にも関心を持っています。

これから取り組むこと等

(今後向上・習得すべき職業能力や、その方法などを記入)

精神障がい等の病理の傾向やその対応方法についての知識を深め、精神保健福祉士の取得を目指したいと考えています。経済的問題のお話を伺う機会もある為、ファイナンシャル・プランニング技能士の取得も検討しています。

また、介護や福祉の制度は改定が早いので、常に学び、知識を更新していきたいです。

その他

(以上から、自己PRやキャリアコンサルティングで相談したいことなどを自由記入)

精神保健福祉士の資格を取得する為に教育訓練給付金の制度を利用したいと考えています。患者様やそのご家族のご相談に対し適切な対応を行えるように常に向上心を持って取り組んできています。

現在は非正規で働いている為、今後不安感があります。今後についてどのように考えていけば良いのか相談に乗って頂きたいです。

様式2 職務経歴シート

氏名 日本 太郎

令和 × 年 × 月 × × 日現在

| 職務経歴 | | | |
|------|--|--|--|
| No. | 期間(年月～年月) (何年何ヶ月) | 職務の内容 | 職務の中で学んだこと、 得られた知識・技能等 |
| | 会社名・所属・ 職名(雇用形態) | | |
| 1 | 平成 10 年 04 月 ～ 平成 30 年 03 月 (20 年 0 ヶ月) | 医療ソーシャルワーカー 療養中の心理的・社会的問題の解決調整援助 退院援助 社会復帰援助 受診・受療援助 経済的問題の解決調整援助 地域活動 | 患者様やそのご家族が抱える生活問題に対して、福祉の観点からの支援を行いました。患者様やそのご家族が抱える生活問題は人によって様々でそれに対する支援を行う事の難しさを深く学ぶ事が出来ました。 |
| | 医療法人 ○○会 ○○総合病院 (正規職員) | | |
| 2 | 平成 30 年 04 月 ～ 年 月 (2 年 3 ヶ月) | 医療ソーシャルワーカー 療養中の心理的・社会的問題の解決調整援助 退院援助 社会復帰援助 | 今後は総合病院ではなく、精神科病院で働きたいと考え、転職をしました。精神障がい等の種類や傾向等を学ぶ事が出来ました。精神障がいを持つ患者様の対応はとても難しいと感じています。適切な対応が出来るように専門的知識を学ぶ必要性を感じています。 |
| | 医療法人 ◇◇会 ◇◇病院 精神科 在職中 (非正規職員) | | |
| 3 | 年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月) | | |
| | () | | |
| 4 | 年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月) | | |
| | () | | |
| 5 | 年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月) | | |
| | () | | |
| 6 | 年 月 ～ 年 月 (年 ヶ月) | | |
| | () | | |

様式3-1 職業能力証明(免許・資格)シート

| | |
|----|-------|
| 氏名 | 日本 太郎 |
|----|-------|

| No. | 免許・資格の名称 | 免許・資格の実施・ 認定機関の名称 | 免許・資格の内容等 |
|-----|--|----------------------|---|
| | 取得時期 | | |
| 1 | 普通自動車第一種運転 免許 平成 07 年 04 月 | 〇〇県公安委員会 | |
| 2 | 訪問介護員2級養成研 修（ホームヘルパー2 級） 平成 08 年 01 月 | 〇〇県知事 | 大学にて社会福祉について学ぶ課程で 介護の知識や技術の習得の必要性を感 じ、自主的に受講し、取得しました。 介護の考え方を学んだ事で福祉や介護 の取り組む姿勢を考えるきっかけにな り、視野が広がりました。 |
| 3 | 社会福祉士 平成 10 年 03 月 | 厚生労働省 | 大学にて社会福祉について学び、取得 しました。取得するにあたって、障が い者を支援する施設に実習に行った際 に不自由なことはあるが、健常者と何 ら変わらないと感じる事が出来まし た。実習を通して、病院内でのソー シャルワーカーを目指そうと考えまし た。 |
| 4 | 年 月 | | |
| 5 | 年 月 | | |

(注意事項)

- 1 「免許・資格の内容等」欄には、必要に応じて、免許・資格付与の基準・目安等も記入(又は添付)してください。
- 2 原則として、本シートを生涯にわたって活用していく中で、免許・資格の取得の都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。また、応募書類とする場合は、応募先の業務で必要な資格等の書類等(写本)を添付する等、可能な範囲で必要に応じて書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。
- 3 記入しきれないときは、適宜枠の数を増やす等により記入してください。
- 4 本シートは、電子的方式、磁気的方式その他の知覚によっては認識することができない方式で作られる記録であって、電子計算機による情報処理の用に供されるものをもって作成することができます。
- 5 必要があるときは、各欄を区分し、または各欄に所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができます。

～文部科学省、厚生労働省及び経済産業省は「ジョブ・カード」の普及に取り組んでいます～

様式3-2 職業能力証明(学習歴・訓練歴)シート

| | |
|----|-------|
| 氏名 | 日本 太郎 |
|----|-------|

| No. | 期間 | 教育・訓練機関名 | 内容等 |
|-----|-----------------------------------|------------|--|
| | | 学科(コース)名 | |
| 1 | 平成 03 年 04 月 ～ 平成 06 年 03 月 | 〇〇県立〇〇高等学校 | サッカー部に所属し、キャプテンを務めました。様々なメンバーがいてまとめるのはとても大変でしたが、みんなで話し合いを重ねる事で1つの目標に向かう事が出来ました。その経験からコミュニケーションの重要性を学ぶ事が出来ました。 |
| | 普通科 | | |
| 2 | 平成 06 年 04 月 ～ 平成 10 年 03 月 | ◇◇福祉大学 | 中学生の頃に老人ホームに訪問して傾聴するボランティアに参加した事から福祉に関心を持ち、社会福祉学科に進学。「児童」「医療」「人間福祉」の3つの専修コースがあり、「医療」を選択。医療ソーシャルワーカーを目指そうと考えました。福祉について学ぶ事で視野が広がりました。 また、家庭教師のアルバイトを経験し、人に何かを伝える事の難しさを痛感しました。 |
| | 社会福祉学部 社会福祉学科 | | |
| 3 | 年 月 ～ 年 月 | | |
| | | | |
| 4 | 年 月 ～ 年 月 | | |
| | | | |

(注意事項)

- 1 原則として、中学校卒業以降の学校、教育訓練機関での学習歴を記入してください。
- 2 「内容等」の欄には、教育・訓練の内容とともに、学んだこと・得られたことも記入します。
- 3 教育・訓練を修了した都度、証明する書類等(写本)の添付を可能な範囲で行ってください。
また、応募書類とする場合は、応募先の業務で必要な修了証等の書類(写本)を添付する等、可能な範囲で必要に応じて書類等(写本)の添付を行ってください。なお、キャリア・プランニング時には必ずしも必要ありません。